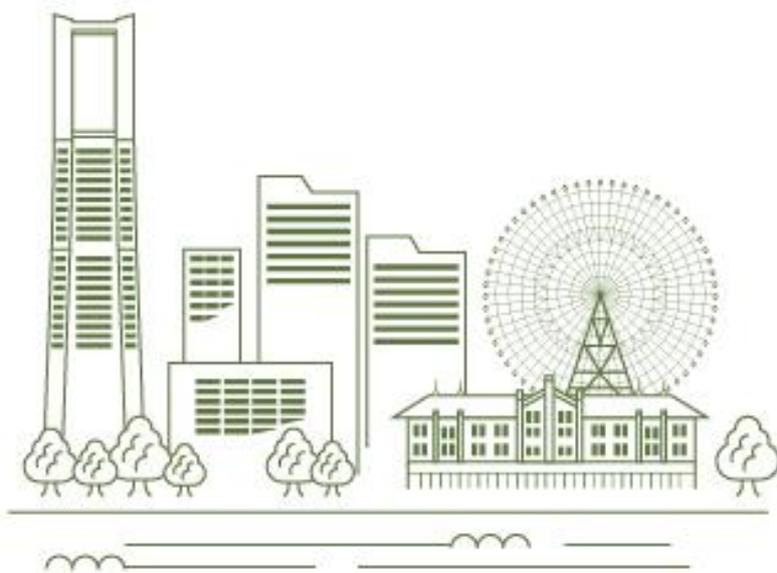
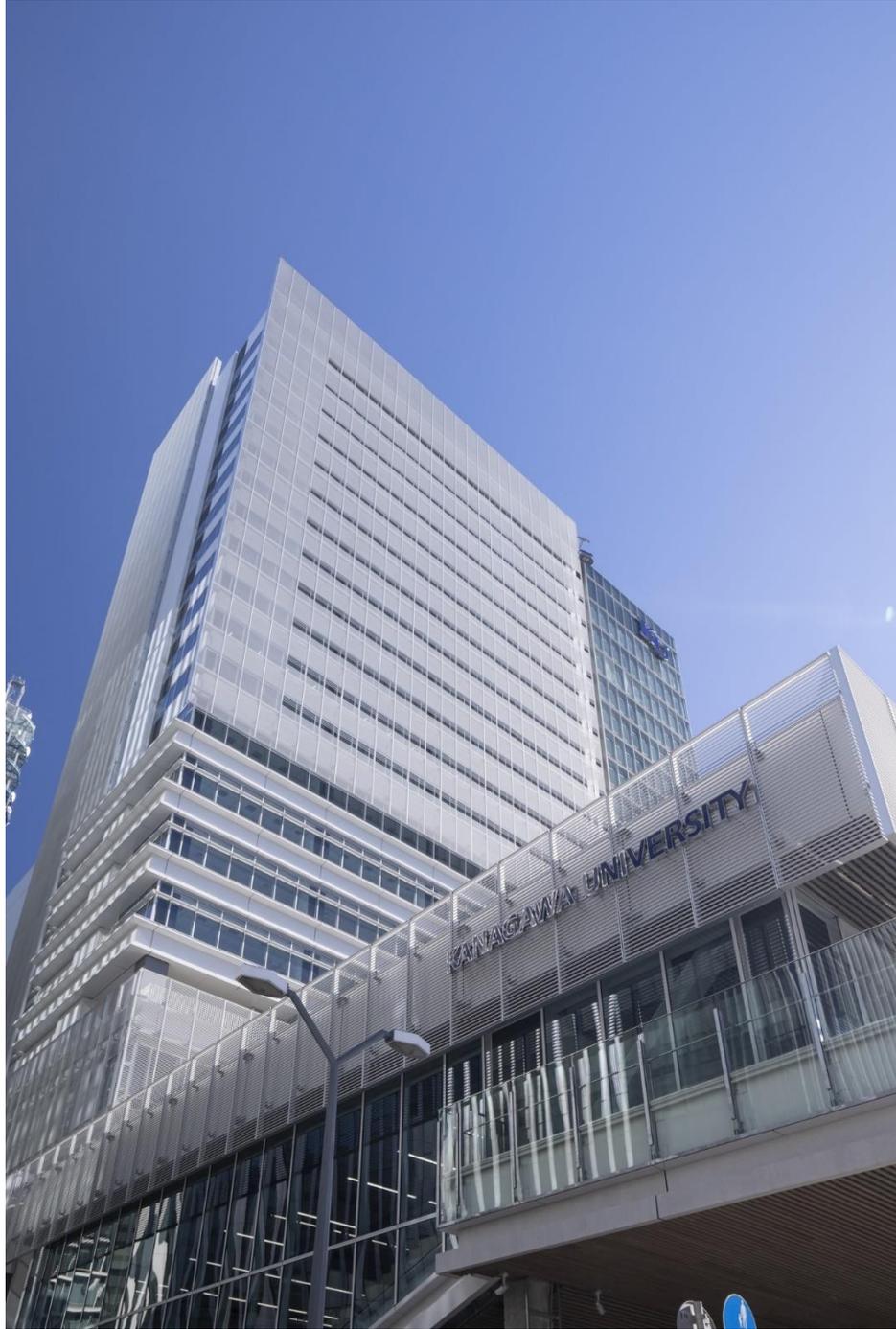


日本民俗学会第 73 回年会 横浜  
「海が結ぶ日本と世界」プログラム  
(第 3 回サーキュラー)



2021 年 10 月 9 日 (土)・10 日 (日)

オンライン開催 (発信会場：神奈川大学みなとみらいキャンパス)



神奈川大学みなとみらいキャンパス外観



6階テラス



4階米田吉盛記念ホール

## 目次

第73回年会プログラム	4
年会参加者の皆様へ	5
個人発表の皆様へ	5
グループ発表の皆様へ	6
個人発表の座長の皆様へ	6
研究発表タイムテーブル(10月10日)	8~9
研究発表プログラム	10~17

## プログラム

### 2021年10月9日(土)

13:00~16:00 公開シンポジウム(オンライン)

#### 「海が結ぶ日本と世界—渋沢敬三と日本常民文化研究所—」

趣旨説明 佐野 賢治「郷土研究から世界常民学へ」

総合司会 山本 志乃

#### 【パネリスト】

安室 知 「渋沢敬三の自然観—魚名研究とその学史的意義—」

藤川美代子 「海に生きる女性—船上生活者と海女—」

飯田 卓 「海を越えて続く鉄路—現代に生きる渋沢敬三のフィールドワーク観」

加藤 幸治 「自民俗誌の可能性—農漁民の覚醒」

#### 【コメンテーター】

松田 睦彦

後藤 明

#### 【総合討論】司会

山本 志乃・丸山 泰明

16:15~17:00 研究奨励賞授賞式

### 2021年10月10日(日)

9:00~ 各 Zoom 会場入室開始

9:30~12:00 研究発表(午前)

12:00~13:00 昼食休憩

13:00~16:00 研究発表(午後)

## 年会参加者の皆様へ

### ◆オンライン開催

- ・新型コロナウイルス感染の拡大が収まらない現在、10月の年会对面開催で行うにはさまざまな危険性が伴う懸念があります。大学の入構禁止の可能性もないわけではありません。参加者皆さんの健康管理を重要視し、オンライン開催といたします。
- ・オンライン開催は昨年とは異なり、Zoomによるライブ開催とします。通常の年会的ように、質問等がライブで行えるようにしました。
- ・参加者には、年会ホームページから「オンライン会場専用サイト」のURLをクリックして、「オンライン会場専用サイト」(confitのソフトで作成)にお入りください。
- ・「オンライン会場専用サイト」には、A会場からH会場まで8つの会場のバナーあるいはボタン(以下バナーと呼びます)があります。会場のページから「第〇会場 Zoomはこちら」のバナーをクリックしてください。Zoomのサイトが出ますから、その会場のZoomミーティングIDとパスコードを入力して発表会場にお入りください。
- ・別の会場に移動する場合は、一旦研究発表Webサイトに戻り、改めて入室希望の会場ボタンをクリックし、その後Zoomのサイトからその会場のZoomIDとパスワードを入力してください。
- ・各会場のZoomミーティングIDとパスワードの一覧表は、年会直前に参加者の皆様にメールでお送りします。
- ・オンラインでの参加にはZoomに接続するためのパソコンやタブレット等のインターネット端末、安定してインターネットに接続できる環境が必要になります。Zoomアプリのダウンロードなども必要です。余裕をもった事前のご準備をお願い申し上げます。
- ・もう少しわかりやすい**参加者マニュアル**を、開催前にメールでお送りします。

## 個人発表の皆様へ

### ◆オンラインでの発表

- ・30分前までに発表会場にZoomでお入りください。会場の入り方は、上記の年会参加者と同じです。その際、お名前を会場番号とフルネームで表記されるように設定してください。例えば、「A-1 藤野哲寛」のようにお願いします。
- ・会場にオンラインで入室したら、その会場のホストにチャットで名前をお知らせ下さい。
  - ・パワーポイントなどの資料は、発表直前に「画面の共有」から表示してください。

### ◆発表時間

- ・発表 20分・質疑応答 5分・移動 5分を1ユニットとします。

- ・発表の際には以下のようにベル等で時間をお知らせします。終了時間は厳守くださいますようお願いいたします。
  - 17分経過……………ベル 1 回（発表終了 3 分前）
  - 20分経過……………ベル 2 回（発表終了）
  - 25分経過……………ベル 3 回（質疑応答終了）
- ・発表者や座長の交代、聴講者のネット上の移動のため、各発表の間に 5 分の時間を設けております。この 5 分間は発表延長の時間ではありませんのでご注意ください。
- ・発表者の責任により開始時間が遅れた場合には、定刻の範囲内で発表・質疑応答を行なって下さい。

#### ◆その他

- ・事情により、やむを得ず発表できなくなった場合には、必ず実行委員会事務局または受付にお申し出下さい。発表者が欠席した場合でも予定の時間割とプログラムにより進行いたします。
- ・発表者の方に、**発表者マニュアル**を事前にメールで送ります。それを確認して準備をお願いします。
- ・Zoom で発表するためのパソコンやタブレットなどのインターネット端末の準備と、Zoom アプリのダウンロードなどオンラインで発表するための準備を早めをお願いします。また、発表者の場合、マイク内蔵型の機器でなければ別売マイクも必要です。
- ・10月2日に、Zoom によるオンラインで会場に入る**発表者リハーサル**を計画しております。これも、決まりましたらメールでお知らせします。

### グループ発表の皆様へ

#### ◆発表確認

- ・各グループ発表の代表者は、発表時間の 30 分前までに、オンライン発表会場にメンバーが揃ったことをご確認のうえ、チャットでホストにその旨伝えてください。

#### ◆発表時間

- ・発表の時間枠は、プログラムに記載されているとおりとなります。進行、質問の受付、時間配分などの運営は代表者にお任せいたします。終了時間の厳守をお願いします。

## 個人発表の座長の皆さまへ

- ・ご担当の発表が始まる 30 分前までにオンライン発表会場へご入室ください。その際、お名前がフルネームで表記されるように設定してください。チャットでホストに「座長〇〇入室しました」とお伝えください。ただし、午前最初の座長の方は 9:20 より、午後最初の座長の方は 12:50 より待機して下さい。
- ・上記「発表時間」に記した時間通りにタイムキーパーがベルを鳴らします。このベルを参考にして、発表が時間通りに行なわれるようご配慮をお願いいたします。
- ・各発表の間に設けられた 5 分間は、発表者の交代や聴講者のオンライン会場移動のための時間で、延長のための時間ではありませんので、ご注意ください。
- ・進行中に問題が生じた場合は、各会場系の者へお申し付け下さい。
- ・**座長マニュアル**を作成し、メールで送付いたします。
- ・10月2日に、Zoomによるオンラインで会場に入る**座長リハーサル**を計画しております。これも、決まりましたらメールでお知らせします。

研究発表発表タイムテーブル (10月10日)

( ) 内は座長

会場	A	B	C	D	E
09:30~09:55	A-1 藤野哲寛 (島村恭則)	B-1 牧野由佳 (村上忠喜)	C-1 福 寛美 (内山大介)	D-1 浅川泰宏 (中野紀和)	E-1 大田黒司 (徳丸亜木)
10:00~10:25	A-2 李珉宰 (島村恭則)	B-2 笠原春菜 (村上忠喜)	C-2 王 婷儀 (内山大介)	D-2 織田竜也 (中野紀和)	E-2 清水亨桐 (徳丸亜木)
10:30~10:55	A-3 張 玉玲 (島村恭則)	B-3 鈴木良幸 (村上忠喜)	C-3 亀田睦季 (内山大介)	D-3 本林靖久 (古家晴美)	E-3 弓削淳一 (徳丸亜木)
11:00~11:25	A-4 小林兆太 (川島秀一)	B-4 永松敦 (菊池健策)	C-4 糺谷一衣 (入江英弥)	D-4 土取俊輝 (古家晴美)	E-4 由谷裕哉 (佐野賢治)
11:30~11:55	A-5 太田原潤 (川島秀一)	B-5 小林直輝 (菊池健策)	C-5 舟木宏直 (入江英弥)	D-5 中町泰子 (古家晴美)	E-5 岸本昌良 (佐野賢治)
12:00~13:00	昼食休憩				
13:00~13:25	A-6 後藤康人 (松田睦彦)	B-6 樽井由紀 (大石泰夫)	C-6 小池淳一 (鈴木岩弓)	D-6 廣瀬由子 (武井基晃)	E-6 李 雪 (加藤隆志)
13:30~13:55	A-7 磯本宏紀 (松田睦彦)	B-7 樋田竜男 (大石泰夫)	C-7 陳 旻 (鈴木岩弓)	D-7 源園生 (武井基晃)	E-7 鬼頭慈都 (加藤隆志)
14:00~14:25	A-8 渡部圭一 (松田睦彦)	B-8 中嶋奈津子 (俵木悟)	C-8 羽柴南枝 (鈴木岩弓)	D-8 近藤功行 (武井基晃)	E-8 鈴木英恵 (加藤隆志)
14:30~14:55	A-9 門伝仁志 (板橋春夫)	B-9 福澤光稀 (俵木悟)	C-9 柏木亨介 (今野大輔)	D-9 呉屋淳子 (越智郁乃)	E-9 中山紋花 (八木透)
15:00~15:25	A-10 伊賀みどり (板橋春夫)	B-10 KOLDAIEVA ALONA (俵木悟)	C-10 星優也 (今野大輔)	D-10 澤井真代 (越智郁乃)	E-10 加藤正春 (八木透)

会場	F	G	H
09 : 30~09 : 55	F-1 余語琢磨 (田村和彦)	G-1 山田慎也 (塚原伸治)	H-1 吉村風 (関沢まゆみ)
10 : 00~10 : 25	F-2 才夢茜 (田村和彦)	G-2 政岡伸洋 (塚原伸治)	H-2 渡部鮎美 (関沢まゆみ)
10 : 30~10 : 55	F-3 山田巖子 (小池淳一)	G-3 門田岳久 (塚原伸治)	H-3 大黒久美子 (関沢まゆみ)
11 : 00~11 : 25	F-4 玉水洋匡 (小池淳一)	G-4 飯嶋秀治 (及川祥平)	H-4 霧理恵子 (和田健)
11 : 30~11 : 55	F-5 李軒羽 (小池淳一)	G-5 内田忠賢 (及川祥平)	H-5 田中きよむ (和田健)
12 : 00~13 : 00	昼食休憩		
13 : 00~13 : 25	F-6 金城ハウプトマ ン朱美 (才津裕美子)	G-6 河野 眞 (門田岳久)	H-6 市川秀之 (飯島康夫)
13 : 30~13 : 55	F-7 小笠原輝 (才津裕美子)	G-7 辻本侑生 市東真一 真柄侑 藤崎綾香 (~15 : 20)	H-7 戸邊優美 松本美虹 中里亮平 加賀谷真梨 加藤幸治 (~15 : 20)
14 : 00~14 : 25	F-8 福持昌之 (才津裕美子)		
14 : 30~14 : 55	F-9 三隅貴史 (阿南透)		
15 : 00~15 : 25	F-10 石川俊介 (阿南透)		

## ■ A 会場

- A-1 09:30~09:55 藤野哲寛 (筑波大学大学院生)  
団地における市の運営—東京都立川市の団地の市を事例に—
- A-2 10:00~10:25 李珉宰 (韓国学中央研究院韓国学大学院人類学・民俗学<民俗学専攻>)  
千歯扱きの社会史—改良からレトロに
- A-3 10:30~10:55 張 玉玲 (南山大学 外国語学部)  
福建の呉服行商人と近代日本の農村社会
- A-4 11:00~11:25 小林兆太 (神奈川大学大学院)  
東京湾周辺地域におけるクモを闘わせる遊びの研究—千葉県富津市の「フンチ」を中心として—
- A-5 11:30~11:55 太田原潤 (神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科博士後期課程)  
菅江真澄「栖家能山」にみる雪形—近世と現代の対比から—
- A-6 13:00~13:25 後藤康人 (日本大学大学院総合社会情報研究科文化情報専)  
国指定天然記念物「見島のカメ」とは何ガメだったのか?—当時の資料から窺える曖昧さと現在まで続く混乱と—
- A-7 13:30~13:55 磯本宏紀 (徳島県立博物館)  
釣り漁師の移動ネットワークと変質—堂浦漁民の事例を中心に
- A-8 14:00~14:25 渡部圭一 (京都先端科学大学)  
琵琶湖内湖における複合生業の形成—近代の漁業組合文書にみる釜の普及過程を例に—
- A-9 14:30~14:55 門伝仁志 (無所属)  
タカモノ (興行師) の伝承—組合系テキヤのドラマツルギー—
- A-10 15:00~15:25 伊賀みどり (帝京平成大学非常勤講師)  
入院分娩を選択した女性たち—占領期の開業産婆の助産録の研究—

■ B 会場

- B-1** 09 : 30~09 : 55 牧野由佳 (総合研究大学院大学博士課程)  
近現代における民俗文化の変容と継承—東北、気仙地方の梯子虎舞を中心として—
- B-2** 10 : 00~10 : 25 笠原春菜 (國學院大學大学院文学研究科博士前期課程二年)  
屋敷神における藁宮祭祀
- B-3** 10 : 30~10 : 55 鈴木良幸 (宮崎大学)  
シシ狩り儀礼とイカリワケ—島根県江津市桜江町長谷山中の事例—
- B-4** 11 : 00~11 : 25 永松 敦 (宮崎公立大学)  
茅の民俗—十五夜行事を中心として—
- B-5** 11 : 30~11 : 55 小林直輝 (筑波大学大学院)  
現代の武州御嶽山における御師の技能習得と信仰—太々神楽に注目して—
- B-6** 13 : 00~13 : 25 樽井由紀 (奈良女子大学)  
有馬節から見る有馬の文化
- B-7** 13 : 30~13 : 55 樋田竜男 (たかやまそふと)  
有翼日輪とハロ : 神楽の白蓋を例として
- B-8** 14 : 00~14 : 25 中嶋奈津子 (佛教大学総合研究所)  
早池峰系関口神楽の成立と伝播について
- B-9** 14 : 30~14 : 55 福澤光稀 (東北学院大学大学院 文学研究科アジア文化史  
専攻)  
山形花笠まつりの成立とその背景
- B-10** 15 : 00~15 : 25 KOLDAIEVA ALONA (コルダエヴァ・アリーナ)  
(筑波大学 人文社会科学研究所 歴史・人類学)  
祭礼の担い手としての外国人—大泉まつりを事例に—

## ■ C会場

- C-1 09:30~09:55 福寛美 (法政大学沖縄文化研究所)  
悪霊の風—『栄花物語』異聞—
- C-2 10:00~10:25 王婷儀 (大阪大学)  
『風俗画報』発行前夜—吾妻健三郎と野口勝一の経歴に見る「風俗画報発行主意書」—
- C-3 10:30~10:55 亀田睦季 (東京大学大学院総合文化研究科)  
『奈良県風俗誌』における入浴実態
- C-4 11:00~11:25 糺谷一衣 (國學院大學大学院文学研究科)  
異類婚姻譚における親子関係
- C-5 11:30~11:55 舟木宏直 (佛教大學大学院文学研究科博士後期課程)  
施灸の技術と知識—愛媛県今治市古国分・桜井を事例に—
- C-6 13:00~13:25 小池淳一 (東京都)  
寛永八年版『大ざつしよ』の意義と位置
- C-7 13:30~13:55 陳 旻 (筑波大学大学院生)  
二つの「よい儀礼」の構築と葬儀の再編—中国寧波市におけるY葬儀社のサービスを事例として—
- C-8 14:00~14:25 羽柴南枝 (岩手県)  
岩手県における死者表像—岩手県平泉町と紫波町の肖像画遺影の事例について—
- C-9 14:30~14:55 柏木亨介 (國學院大學)  
ハンセン病療養所における神職団体の活動—病氣平癒祈願祭・慰霊祭・例祭—
- C-10 15:00~15:25 星 優也 (池坊短期大学)  
いけばな「依代」起源説と民俗学—特に五来重の所説を中心に—

## ■ D会場

- D-1 09:30~09:55 浅川泰宏 (埼玉県立大学)  
日常から聖地に参る—リモート巡礼の現在—
- D-2 10:00~10:25 織田竜也 (長野県立大学)  
昭和レトロの世界観—過去の断片が想起する情景—
- D-3 10:30~10:55 本林靖久 (大谷大学)  
能登の真宗民俗と女性—嫁のコンゴウ参りを中心に—
- D-4 11:00~11:25 土取俊輝 (神戸大学大学院国際文化学研究科)  
ある過疎村落の現状についての一考察—新潟県佐渡市の集落を事例として—
- D-5 11:30~11:55 中町泰子 (神奈川大学非常勤講師)  
横浜中華街における占い店舗の集積と享受者像
- D-6 13:00~13:25 廣瀬由子 (筑波大学人文・文化学群比較文化学類)  
懐中電灯の生活文化史—闇を創り出す光—
- D-7 13:30~13:55 源 園生 (日本民俗学会会員)  
与論島ホーチサアクラのシュニグ—天神と祖神の間で—
- D-8 14:00~14:25 近藤功行 (沖縄キリスト教学院大学・同大学院)  
若者／世代間を通してみる琉球文化圏の認識—奄美群島の島々と沖縄—
- D-9 14:30~14:55 呉屋淳子 (沖縄県立芸術大学)  
「ま—すけ—い歌」の記憶を共有する—パブリックヒューマニティーズの視点から  
考える歌の継承—
- D-10 15:00~15:25 澤井真代 (日本学術振興会特別研究員)  
拝所の探索 —八重山大阿母への聞き取り調査から—

## ■ E会場

- E-1 09：30~09：55 大田黒 司 (神奈川大学大学院博士後期課程)  
天草における民俗信仰の特徴—コウダイを事例に—
- E-2 10：00~10：25 清水亨桐 (介護施設勤務)  
川崎市麻生区下麻生の麻生不動院の不動尊信仰
- E-3 10：30~10：55 弓削淳一 (福岡県)  
北部九州における海幸・山幸神話に関する祭神の研究
- E-4 11：00~11：25 由谷裕哉 (小松短期大学名誉教授・金沢大学客員研究員)  
神社合祀における神社の鎮座地に伴う偏差
- E-5 11：30~11：55 岸本昌良 (日本国)  
神社合祀新考—基本財産とは何か—
- E-6 13：00~13：25 李 雪 (筑波大学大学院)  
盆綱からみる祖先祭祀の実践とその変化—茨城県阿見町を事例として—
- E-7 13：30~13：55 鬼頭慈都 (名古屋民俗研究会)  
本證寺の正月行事—おきょうえんさんを中心に—
- E-8 14：00~14：25 鈴木英恵 (群馬パース大学非常勤講師)  
ほしの玉の習俗と画像資料—宮城県気仙沼地域を中心に—
- E-9 14：30~14：55 中山紋花 (國學院大學大学院)  
門松の研究—門松に用いられる樹種を中心に—
- E-10 15：00~15：25 加藤正春 (ノートルダム清心女子大学名誉教授)  
柳田国男の「空葬」概念と「二度の葬式」仮説の取り下げをめぐって

## ■ F会場

- F-1** 09:30~09:55 余語琢磨 (早稲田大学人間科学学術院)  
都市工芸・京焼の民俗誌的記述にむけて—伝統工芸と近代産業のはざまで—
- F-2** 10:00~10:25 才夢茜 (東京大学大学院総合文化研究科)  
「上海剪纸」とは何か—中国・上海剪纸の事例から見る伝統文化の真正性—
- F-3** 10:30~10:55 山田巖子 (弘前大学)  
旧小川原湖民俗博物館の映像資料
- F-4** 11:00~11:25 玉水洋匡 (國學院大學大学院前期課程)  
句碑から辿る「芭蕉伝説」の生成と定着—現存する松尾芭蕉存疑句句碑を基にして—
- F-5** 11:30~11:55 李 軒羽 (関西学院大学大学院)  
「廢墟探検」の民俗学的研究—近畿圏の事例から—
- F-6** 13:00~13:25 金城ハウプトマン 朱美 (富山県立大学工学部)  
持続可能な開発目標 (SDGs) と文化遺産
- F-7** 13:30~13:55 小笠原輝 (山梨県富士山科学研究所)  
世界文化遺産「富士山」の構成資産の中を流れる福地用水の継承について
- F-8** 14:00~14:25 福持昌之 (京都市文化財保護課)  
無形民俗文化財としての「大般若経転読」行事—卷子本転読の作法と伝承—
- F-9** 14:30~14:55 三隅貴史 (関西学院大学大学院)  
青森ねぶた祭とハネトライダー—なぜ旅人までもが祭礼運営に貢献するのか?—
- F-10** 15:00~15:25 石川俊介 (追手門学院大学社会学部)  
観光イベントにおいて構成・表象される祭礼 —長野県諏訪地域の御柱祭を事例として—

## ■ G会場

- G-1** 09:30~09:55 **山田慎也** (国立歴史民俗博物館)  
新型コロナウイルス感染症の流行と火葬
- G-2** 10:00~10:25 **政岡伸洋** (東北学院大学文学部)  
コロナ禍と民俗学—論点の整理と若干の事例分析—
- G-3** 10:30~10:55 **門田岳久** (立教大学)  
レジスタンスとしての民俗学(1)—宮本常一と「大学」構想をめぐる文化運動から
- G-4** 11:00~11:25 **飯嶋秀治** (九州大学)  
口承を超える民俗学—視覚障害研究から—
- G-5** 11:30~11:55 **内田忠賢** (奈良女子大学)  
地元学・地域学の展開
- G-6** 13:00~13:25 **河野 真** (比較民俗学会)  
「スポーツと民俗学」再論—ドイツ民俗学への案内として—
- G-7** 13:30~15:20 《グループ発表》「カネ」の視点から地域社会を見る  
代表者：辻本侑生 (民間企業勤務)  
報告1 辻本侑生  
民俗学的経済研究の新たな展開に向けて—一家・地域・(地方)政府の視点から—  
  
報告2 市東真一 (神奈川大学日本常民文化研究所)  
ツケ払いにみる信用と結束の創出—長野県松本市(株)しづかを事例に—  
  
報告3 真柄侑 (東北学院大学)  
共同労働をめぐる対価と関わり方の変化について—岩手県紫波町片寄漆立における稼ぎとしてのテマドリと集落営農の導入を事例に—  
  
報告4 藤崎綾香 (筑波大学大学院)  
シマの活動を維持するための区費の使い方とはなにか—沖縄県南城市奥武区自治会における区費の活用方法を巡る意見を通して—

## ■ H会場

- H-1 09:30~09:55 吉村 風 (国立国会図書館)  
村規約と生活改善規約：農山漁村経済更生運動とその受容
- H-2 10:00~10:25 渡部鮎美 (筑波大学)  
過疎・高齢化地域の婦人会活動に見る女性と地域振興—新潟県十日町市松之山町の婦人会誌を中心に—
- H-3 10:30~10:55 大黒久美子 (佛教大學大学院)  
若者仲間と婚姻をめぐる通時的考察—兵庫県姫路市家島町の兄弟分を事例として—
- H-4 11:00~11:25 靄理恵子 (専修大学)  
「固有名詞の世界」を広げる意味—都市の町内会の事例から—
- H-5 11:30~11:55 田中きよむ (高知県立大学)  
地方における「見えにくい貧困」—ホームレス支援活動をふまえて—
- H-6 13:00~13:25 市川秀之 (滋賀県立大学)  
「村座」再考
- H-7 13:30~15:20 《グループ発表》 社会変動と性差 (ジェンダー)  
代表者：加賀谷 真梨 (新潟大学)  
報告1 戸邊優美 (埼玉県教育局市町村支援部文化資源課)  
女性講員をめぐる契約講の選択  
  
報告2 松本美虹 (武蔵野美術大学 民俗資料室)  
聴こえない女性を取り巻く社会  
  
報告3 中里亮平 (多摩)  
女性にとっての祭礼、祭礼にとっての女性  
  
報告4 加賀谷真梨 (新潟大学)  
地域介護の浸透と<家族>役割の見直し  
コメンテーター 加藤幸治 (武蔵野美術大学教養文化・学芸員課程研究室)  
自民俗誌の可能性—農漁民の覚醒—

## 日本民俗学会第73回年会実行委員会

年会会長 川島 秀一  
実行委員長 佐野 賢治  
事務局長 小熊 誠  
会計 安室 知  
実行委員 新井 裕美・内藤 久義・榎 美香・越智 信也・加藤 友子・  
小泉 優莉菜・小林 光一郎・窪田 涼子・昆 政明・ジョン サイモン・  
佐久間 かおる・周 星・角南 聡一郎・関 悦子・泉水 英計・  
高木 大祐・廣田 律子・丸山 泰明・山本 志乃

院生実行委員 太田原 潤・丹羽 英二

---

## 日本民俗学会第73回年会プログラム（第3回サーキュラー）

編集・発行 日本民俗学会第73回年会実行委員会  
〒220-8739 横浜市西区みなとみらい4-5-3  
神奈川大学国際日本学部歴史民俗学科 小熊研究室気付  
日本民俗学会第73回年会実行委員会事務局  
E-mail: [minzokunenkai73@gmail.com](mailto:minzokunenkai73@gmail.com)

発行日 2021年9月19日